

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

827

環境保健サーベイランス調査事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	1	健康づくりの推進
取組方針	1	生涯を通じた健康づくりの推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	保健衛生費		
	目	母子衛生費		
	大事業	母子衛生事業		
中事業	環境保健サーベイランス調査事業			

事業種別	継続			関連個別計画		
事業年度	平成14年度	～	無し	担当課・担当課長・Tel	地域保健課	西 喜彦 488-5120
事業実施の根拠法令				関連課	学校教育課	

1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
事業目的	環境面から、子どもの健康状態を守るため、長期的かつ予見的観点をもって地域集団(幼児)に健康状態と大気汚染との関係を定期的・継続的に観察		環境省からの委託により、地域人口集団の健康状態と大気汚染との関係を調査、データの解析及び評価を行うため、3歳児健診と同一地域における小学校教育の場を利用してアンケート調査を実施			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		3歳児健康診査時のアンケートにより健康調査を実施小学校に依頼し、小学1年生に対してアンケートによる健康調査を実施	3歳児健康診査時のアンケートにより健康調査を実施小学校に依頼し、小学1年生に対してアンケートによる健康調査を実施	3歳児：3歳児健診時アンケートにより健康調査実施 6歳児：学校を通じ、小学校1年生にアンケート調査を実施	3歳児：3歳児健診時アンケートにより健康調査実施 6歳児：学校を通じ、小学校1年生にアンケート調査を実施	3歳児：3歳児健診時アンケートにより健康調査実施 6歳児：学校を通じ、小学校1年生にアンケート調査を実施

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,279	2,035	2,497	1,921	2,498	1,960	2,545	0	2,545	0
伸び率(%)	0.1%	1.3%	9.6%	△5.6%	0%	2%	1.9%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,736	3,259	3,350	3,430	3,677	4,076	4,236	0	4,236
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,736	3,259	3,350	3,430	3,677	4,076	4,236	0	4,236
国庫支出金	2,279	2,035	2,497	1,921	2,498	1,960	2,545	0	2,545	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	0.47	0.41	0.42	0.43	0.46	0.51	0.53	0.00	0.53
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	報償金1,260千円、消耗品費742千円、通信運搬費374千円等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
3歳児アンケートの送付枚数		枚	目標値					
			実績値	3043	2855	2923		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
6歳児アンケートの送付枚数		枚	目標値					
			実績値	2783	2776	2882		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
3歳児回収数		枚	目標値					
			実績値	2600	2460	2602		
			達成度(%)	85.4%	86.2%	89%	0%	%
			目標値					
6歳児回収数		枚	目標値					
			実績値	2626	2593	2698		
			達成度(%)	94.4%	93.4%	93.6%	0%	%
			目標値					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	長期の調査が必要になるため、事業の継続が妥当
見直し・改善内容	環境省からの委託事業